

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社フィールズ

## ②施設・事業所情報

名称：特別養護老人ホーム 梅の木ホーム	種別：特別養護老人ホーム
代表者氏名：金子 順也	定員（利用人数）：100名
所在地：神奈川県横浜市保土ヶ谷区上菅田町1372	
TEL：045-370-3151	
ホームページ：http://yoko-fukushi.or.jp/umenoki/	
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2016年（平成28年）4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 横浜社会福祉協会	
職員数	常勤職員：54名 非常勤職員：26名
専門職員	（専門職の名称） 名 生活相談員：3名 管理栄養士：1名 看護師：5名（非常勤：3名） 介護員：45名（非常勤：12名）
施設・設備の概要	（居室数）10ユニット 1ユニット：10室 計：100室 （設備等）個浴：5か所 特浴：2か所 トイレ：各ユニット内3か所

## ③理念・基本方針

## &lt;施設理念&gt;

入居者一人ひとりの尊厳を尊重し、住み慣れた地域で安全・安心・快適な生活が営まれるよう「生活の質」や「介護の質」を基本とし、地域に信頼される施設を目指し、心のこもったサービスを提供します。

## &lt;基本方針&gt;

## ①利用者の生活を大切にします

入居者が家庭的で温もりのある生活空間の中で豊かな生活を送っていただけるように「その人らしいさ」を大切にし、心身の状態に合わせた介護サービスを提供します。

## ②安全・安心・快適な生活が出来るように支援します

施設設備の細心な対応によって、日々の生活が「安心・安全・快適」に過ごせるようにし、イベントやクラブ活動などの充実により笑顔あふれる施設にします。

## ③地域に開かれた施設を目指し、地域社会の一員として地域に貢献します

地域の皆様が気軽に立ち寄れる施設を目指し、明るく快適な施設にします。

近隣学校との交流を深めることでのより良い関係を築きます。

緊急・災害時において施設の役割を果たします。

## ④思いやりの心と礼儀を身につけた専門的職員を育成します

入居者に信頼され満足して頂けるサービス提供を目指すため、研修等により人材育成を積極的に取り組みます。

専門的知識・技術に限らず、社会で通用する接遇や思いやりの心を含めた人材育成に努めます。

#### ④施設・事業所の特徴的な取組

施設内は清潔に保ち外履きで入り、各ユニットごとの玄関で外履きを室内履きに履き替えて入室します。

個人の尊重を重視したケアを実現するため、全室個室10名1ユニットの少人数で家庭的な生活を行っています。居室が一軒の家としてみたて、ユニット毎に丁目、居室に番地、〇丁目の〇番地で表示しています。

お部屋でのんびり一人気兼ねなく過ごしたり、キッチンでお料理を楽しんだり、リビングで皆さんとおしゃべりしたり、我が家にいるような気持ちで毎日を送っていただけます。

暮らしの継続を大切にし、また「ブルースト効果」を取り入れ、使い慣れた物、家具や思い出の品の持ち込みを奨励し、安らぎの自分の居場所作り、我が家作りをしています。

地域交流室は、地域活動の場として活用をしたり、大スペースにし、大勢が参加できる行事や催事に活用しています。家族室は畳敷きで布団やテーブル、洗面室も備えて、看取り時や遠方からの訪問の泊りなどに活用して頂いています。女性職員の更衣室にパウダールームを設けたり、子育て支援等の充実も図っています。

今後には歯科医が積極的に研修等の実施を増やすなどして口腔ケア、経口維持に取り組んでいます。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和元年9月1日（契約日）～ 令和2年3月16日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	一回（年度）

#### ⑥総評

◇特に評価の高い点

##### 1)「ブルースト効果」で安らぎの自分の居場所、我が家作りを促しています

各居室を我が家とし、居室表示を住居表示のように〇丁目〇番地で表示しています。各ユニットの玄関で外履きを内履きに履き替え入室します。居間には特別なチラシは掲示せず、ユニットごとに利用者と共に季節に応じた、また盆栽に見立てた置物など落ち着いた着ける装飾など工夫しています。

お部屋でのんびり一人気兼ねなく過ごしたり、キッチンでお料理を楽しんだり、リビングで皆さんとおしゃべりしたり、我が家にいるような気持ちで毎日を送っていただけるよう工夫しています。各ユニットにIH器具や食洗機を設置し、料理やおやつ作りをしています。炊飯や副食の配膳を各ユニットで行い、一人ひとりの食事量に合わせ盛り付けをしています。

食事の盛り付けやメニュー書きなど役割をもって生活して頂いています。暮らしの継続を大切にしています。馴染みの家具やカーテンなどから記憶が呼び覚まされ、体調も良くなるとの考えの「ブルースト効果」を取り入れています。使い慣れた箸、湯飲み茶わん、使い慣れた家具や思い出の品など、生き物以外は持ち込みを奨励し、安らぎの自分の居場所作り、我が家作りを促しています。

##### 2)職員の意見を聞き職場環境や勤務体制などに力を注ぎ、働きやすい環境を整備しています

施設長は、職員の就業状況や心身の健康状態を把握し、ワーク・ライフ・バランスに配慮した働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。職員用意見箱を設置し、寄せられた意見を主要会議で検討し、具体的な取組みに繋げています。

セクシャルハラスメント等の相談窓口となる担当を決めて職員に周知しています。女性職員更衣室はパウダールーム（化粧直しができる）を設定し、身だしなみを整えられるように配慮しています。職員は毎日出勤時に「職員体調チェック表」で検温や体調を確認し、勤務に就くなど健康管理しています。体調不良等感染リスクのある職員が使用するトイレを別に設けるなど感染防止の環境整備にも努めています。

法人の「子育て支援ハンドブック」に、シフト・業務内容の調整などの配慮や支援についての説明をしています。次世代育成支援対策推進法による法人の「行動計画」の中で、出産育児で退職した職員の再雇用を促進することを目標の一つに掲げています。各ユニットで必要に応じて使えるユニット費など、職員が主体的に業務に取り組む体制も構築しています。

### 3)24時間の行動観察から24時間シートの活用で一人ひとりのニーズに応じたサービスの提供をしています

入所後まず利用者一人ひとりの24時間の行動や表情、反応などを詳細に記録します。その記録を通し排泄や入浴、起床就寝、食事など生活パターンや好みの活動などを把握できます。それを基に24時間シートを作成し日々を実施を記録、入力しています。24時間シートは支援ごとに、開始・終了時間、生活リズム、意向・好み、自分で出来ること、サポートが必要なこと、気付いたこと・注意点を記録しています。

記録を通しその人が何を大切にしているか、何を必要としているかなど推察することができ、サービス計画書の作成（課題、長短期目標、サービス内容など）に繋がっています。サービス内容の適正を図るモニタリング時も、支援の実施内容と状況を記録した24時間シートの記録で適正に評価することができ、常に一人ひとりのその時のニーズに即したサービス内容の提供に努めています。

### ◇改善を求められる点

#### 1)地域に開かれた施設、地域住民と共に歩む施設、地域に役割を担う施設づくり

施設の基本方針に地域に開かれた施設を目指し、地域社会の一員として地域に貢献しますと掲げています。中長期・短期事業計画では、地域高齢者介護の拠点として、地域における新たな役割を担うように明記しています。地域住民と共に歩む施設となるように積極的に地域行事に参加し、施設行事に地域の方が参加できるように情報を発信し、地域貢献が出来るように努めています。現在、地域交流室を自治会の会合に開放しています。地域交流としてコンビニの買い物や地域の夏祭りの参加、近隣の小学校の児童が学校だよりを届けてくれたり、自治会長を通じて施設の地域参加型の納涼祭のお知らせを地域に配布しています。区と福祉避難場所の協定を締結し、地震や災害等が発生した場合の受け入れ体制を整備中です。

今後は更に、地域の高齢化する人々の持てる能力の活用や保育園児やボランティアとの交流など世代を超えた多様な交流の機会を設けたり、施設が有する福祉サービスの提供に関するノウハウや専門的な技術や情報を、地域に還元する取組に期待されます。

#### 2)職員の資質向上や周知徹底などサービスの質の向上へ組織的取り組み

施設の理念や方針を基にサービスの基本となる手順書や事業計画書等の作成や職員の資質向上のための研修を実施しています。現在、手順書や各マニュアルは必要に応じ委

員会等で評価・見直しが行われています。

職員が一人ひとり常に手順書等を周知し、出来る限り職員間の支援の差異が出ないように、基本となる手順者やマニュアルの定期的評価・見直し、改訂を図り、内容の周知徹底が図れるような組織的ルール作りに期待されます。職員の施設内外の研修内容の評価と計画、介護に関する最新情報の提供や外部研修の情報提供と参加しやすい工夫など、更なるサービス向上のための組織的取り組みが期待されます。

#### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回初めて第三者評価を受審しました。当施設の行っているサービスを自己評価したことで、自施設のサービスを再確認できました。ご利用者やご家族のご意見と調査員によるヒアリングにより、自施設の自信をもって良い点や改善すべき点が見つかり、良い点に関しては引き続き大切にしつつ、改善すべき点は今後の施設の成長に向けて前向きに取り組んでいきたいと思っております。今回の評価を真摯に受け止め、更なるサービスの質の向上に努めていきたいと思っております。ホームのご利用者様、ご家族様にはご理解とご協力を頂きありがとうございました。

#### ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり